

昭和49年11月25日発行



No. 75

人口の動き	
総 人 口	10,261 人
男	4,604 人
女	5,657 人
世 帯 数	2,422 戸
転 入	24 人
転 出	9 人

(10月末住民登録人口より)

発行／岐阜県川辺町 ■ 編集／川辺町役場総務課 ■ 印刷／中部印刷 KK

力せなんかに
負けないよ

「ほらほら、少しも痛くないよ。泣く子はカゼに負けるぞ。」
インフルエンザの流行期をひかえ、ことしもまた、予防接種を実施しました。
先生のいわることばに、歯をかみしめて、よい子はみんな痛さをこらえました。泣く子は一人もなかつたから、きっとみんなは力せなんかに負けないでしよう。
さあ、みんな元気よく、この冬を過ごそう。

(第一保育園にて)





体内をくまなく循環する血液——からだに酸素と栄養をくばつて病害から私たちを守ってくれる。そんな役目をする血液も、このところすっかり底をついているといわれています。多発する交通事故、負傷者がひつきりなしに運び込まれる一方、病気による手術者もあとを断たない。これらの人たちにとっては、一にも二にも『輸血』が命のツナ。元気なときにはあまり考えないのですが、いま一度改めて考えなおすべきときではないでしょうか。

ふえる町内の血液需要

病気・事故——輸血は命のツナ

川辺小学校四年生の中島希美子ちゃん、ことし十歳。中部中学校一年生の桑畠京子さん、十二歳。この二人は今、元気に通学しています。

昨年の十一月、希美子ちゃんは名古屋の大学病院で、また京子さんは同じく十月、岐阜の国立療養所で、それぞれ心臓の手術を受けました。

希美子ちゃんの病名は「心房中隔欠損症」。むずかしい名前ですが、なんでも心臓の左右の心房の間に、生まれつき小さな穴がありていて、この穴を通って左心房から右心房に血液が流れこむという病気でした。

また、京子さんは「心室中隔欠損症」で、これは心臓の左右の心室の間に小さな穴があいていて、収縮すると圧力の高い左室から、圧力の低い右室の方へ血液が逆戻りするという、やはり生まれつきの心臓病でした。

「あのときは、輸血をどのようにしたらよいか、ずいぶん迷いました。小学校に相談したところ、

PTAを通じて、各方面へ献血のお願いをしていただきました。そして、町内はもとより、遠くは東京の方までも、およそ百六十人近くの暖かい血液提供の申し出を得て手術も成功。その後順調で元気になりました。その時以上に近い人の尊さとありがたさを感じたことはありません。」

二人のご両親は、思いをこめてこう話されていました。

胃ガン手術には24人分必要

“社会に温かい血をかよわせたい”——。そんなキヤッチフレーズのもと、岐阜県では愛の献血運動をすすめました。いま県では、手術やケガのため一年間に必要な血液の量は九千四十五万五千本といわれています。

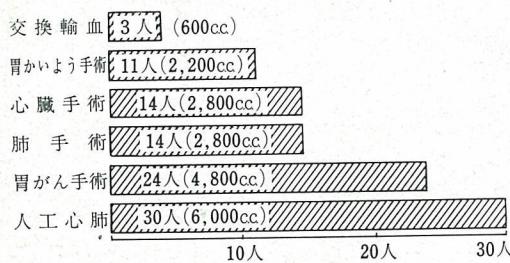
昨年の実績は、四万四千九百三十一本。ほぼ必要量だけは確保できただものの、保存血液の需要量は

血をください

交通事故の激増、成人病、難病対策の推進、健康院の活動などにより、ますますふえている現状のようです。

ふつう、手術のときに使われる血液の量は、最近多い胃かいようの手術で一人分・二千二百cc、心臓と肺手術はそれぞれ十四人分で二千八百cc、胃ガンでは二十四人分、実に四千八百ccも必要になります。さらに、人工心肺の手術ともなるものなら三十人分、六千ccを確保しなければなりません。人は、だれでも健康であります。しかし今日、自分だけで健康を守り育てることはできません。おたがいに元気なときにこそ献血をし、みんながおたがいの健康を守るために、助け合っていきたいものです。

手術別にみた献血必要量



献血は決してこわくない

逆に体の調子がよくなることも

日本における輸血は、血液銀行によって行われるようになった昭和二十六年前は、家族等の供血によるか、供血あせん業者によって確保されました。

しかし、こうした生血による、いわゆる枕元献血による方法は、血液の諸検査が十分でできず、梅毒感染などのおそれがあり、このへい害は医療の不安と社会悪を招いてきました。

それ以来、いろいろ研究され全検査で安全な保存血液を確保するという、献血の方法がとられるようになりました。

ところで、川辺町民の献血度はどうでしょうか。愛の献血車「もしび号」が、県下各市町村を巡回して、「愛の献血」を受け入れているのですが、昨年の本町の献血者は、五月には五十人、十月には四十五人と、まだまだ低調の域を脱しない実情のようです。

になります。

人間は、血液量の四分の一を失つても直接、生命には危険はありませんが、三分の一以上流失すると、血液が下がり、二分の一だと生命が危険な状態になるといわれています。

ところで献血の場合、一回二百cc採血しても、さきほどの六十kgの人は、全血液量の二十一分の一にしか当たりません。少しもビクビクすることはなく、むしろ「新しい血液がつくられて、調子がよい」と、いう人さえあるよう

です。
献血は、決してこわくありません。針をさすときに、少しばかりチクリとしますが、採血は約五分で終ります。そして、採血された二百ccの血液量は、二~三時間で回復します。

**あなたの血液型を
お知らせください**

さて、本町でも近ごろ血液の必要を訴えられている方がふえました。しかし、自分の血液型も知つていない方が多い現状では、希望にこたえられないのが残念です。

このため、あらかじめ献血に協力下さる方を登録して、直接、

献血した血液が、人を助けるとともに、自分にもし血液が必要となつたときは他人の血液が自分で守つてくれることになるのです。
もしび号」巡回のときなど、献血の必要な場合に備えたいと思いま

す。
自分の献血した血液が、人を助けるとともに、自分にもし血液が必要となつたときは他人の血液が自分で守つてくれることになるのです。

献血は、医師が診断して健康で献血してもよいと認めた方から行います。

さて、本町でも近ごろ血液の必要を訴えられている方がふえました。しかし、自分の血液型も知つてない方が多い現状では、希望にこたえられないのが残念です。

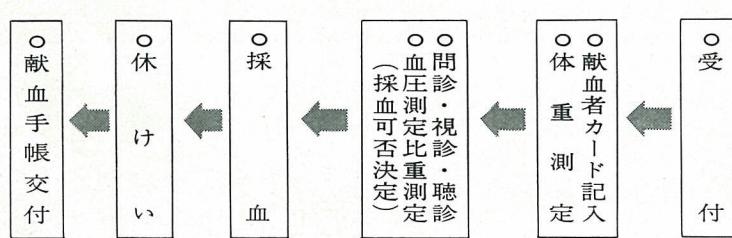
このため、あらかじめ献血に協力下さる方を登録して、直接、

献血の必要なとき、あるいは「ど

うでしょか。愛の献血車「もし

び号」が、県下各市町村を巡回して、「愛の献血」を受け入れているのですが、昨年の本町の献血者は、五月には五十人、十月には四十五人と、まだまだ低調の域を脱しない実情のようです。

献血の手順



“大切なのは、私たちがこの世に何年生きるかでなくどれだけ価値あることをするかにある”ヘンリーはげしく移り変る社会にあって高齢者のみなさんが、ともに学びともに語り、進んで生き甲斐を求めるとは、たいへん大切なことだと思います。

こうした高齢者の生涯教育の一環として、このほど『明治学級』が開設され、艇庫会議室においてその開講式が行われました。入級者四十七名で開設されたこの高齢者大学は、今年度は四回に分けて実施されることになり、その第一回は開講式のあと、岐阜女子大学理事長の高橋茂一先生を招いて、「老後の生き方」と題した講話があり、老人に密着した話の

内容だけに、学級生のみなさんは熱心に受講されました。

なお、この席でこれから学習計画について、いろいろ討議されました。が、なかでも学習内容については、政治経済の問題から老後の健康管理、あるいは交通問題など、それぞれ専門講師を招いて生活に直接結びついた具体的な話題をとりあげてほしいなどの意見が出されました。

また、こうした講演や講義形式のみにかたよることなく、たとえば植木の剪定などを教えてもらい、自然を楽しみながら、豊かな老後を送りたいなど、幅広い発言も交されました。

そして、学級生の主体的、積極的な参加を柱として考へるために、今後の学習を計画的に進めていく

学ぶことがいっぱい

考後生活の中に学習を

明治学級が発足

△上川辺○桑畠宮一、神戸基▽石神、加藤丈作▽中川辺、渡辺鉄三
青田篤長▽西柄井、安田源太郎
△鹿塙、安田藤一▽福島、土屋鳴海▽比久見、高井久五郎▽下麻生
佐藤恭一

うえには、やはり中心的役割を果す組織が必要であるということから、運営委員会を設けられ、この中から学校と同じように、級長ひとりを置くことになりました。その構成は、次のとおりです。

◎は級長（敬称略）

値を失うことさえあります。このような時代に、新しい知識技術を得て、新しい社会のルールを体得して、高齢者全員のみなさんが社会へ参加し、その喜びをいつそう味わっていただくよう、これらの学習成果を期待したいのです。



熱心な学習意欲に満ちあふれた
第一回“明治学級”

“明治学級”的開設にあたり、学級生のみなさんは人格識見、経歴ともに優秀なお捕いに私、老令かつ浅学非才にも学級長に選ばれ、今後のご支援、ご協力をよろしくお願いします。

戦後の日本は、科学文化が急速に進み、家庭生活においても非常に豊かになり、各種の年金も年々増額されました。この時代を今後十年、二十年たてば、なお珍しいことを見たり、聞いたりでき、この時代に生き永らえて、巡り会えた私たちは實にありがたく幸福と願います。

高齢者大学が開設され、今の時代に学ぶことは多く、私たちには意欲を燃やしています。みんなが元気に集まり、今まで知らなかつた人と、そこで対話ができ、楽しく、おもしろくそのひとときを過ごすことができれば幸いです。

高齢者大学が開設され、今どついてても町民のみなさんとともに仲よく集まり、互いに笑い、話し合い、楽しく過ごしたいものとし、寿命をのばしたいと思っています。

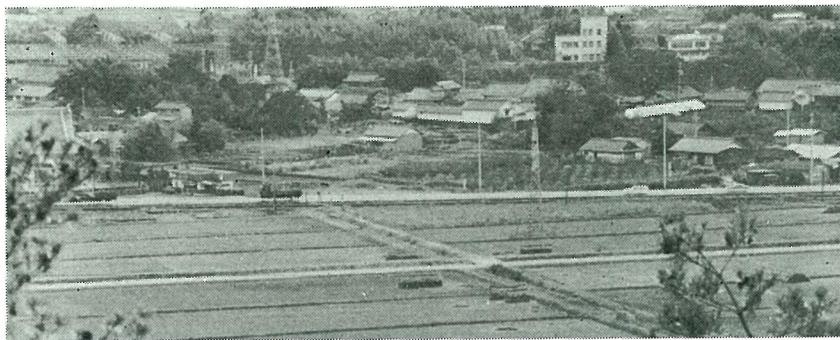
学級生の皆さんには、ますます健康に留意され、元気になれるよう望んでいます。

級長さんはなし



上川辺／
桑畠宮一さん
(81歳)

実りの秋も終つてきちんと
区画された水田が現われた
県道閔々川辺線付近



近代農業の確立めざす

**土地改
良事業**

四年目迎え、雄鳥川の改修も

木曽川右岸用水の高度な水利用と、近代農業の確立をめざして四十六年度からはじまつた県営ほ場整備、土地改良事業

現在、石神・中川辺工区の中で中川辺の大谷池前一帯では、寒空のもとで力強いブルのヒビキとともにほ場整備事業が進められています。

すでにお知らせしたように、この事業は受益地域を美濃加茂市を中心二市五ヶ町にまたがる地帶で、総面積三千五百二十公頃の農地をかんがいするものです。本町では、木曽川右岸東部県営ほ場整備事業として二百六十五・九公頃、また畑地帯の総合土地改良事業は二百五十七・一公頃が計画されています。

そして、このうち四十六年度に十八・三公頃、四十七年度に四十七・九公頃、四十八年度は四十六・四公頃の事業を実施しました。

ど、この八月一日から進められています。つぎに、雄鳥川改修工事にともなう、ほ場整備事業として、十一月下旬から明年三月末までの予定で河川改修が行われます。

現在の雄鳥川は、むかしから雨期になると増水し、そのたびに各所で氾濫や決壊の被害が続出し周辺の農作物に大きな損害を与えています。

新しい農業経営の夢を託すにはこうした被害を完全になくし、思い切った改修工事が必要であり、この計画がたてられたものです。

河川改修の実施計画は、加茂土木事務所で設計を急いでいますがそれによりますと、本年度に改修される区域は下川辺出雲から、上流の右岸側（一部左岸を含む）の字一町田までの間で、河川の幅員が二十五公尺に改修されます。

また、この改修工事にともなつて、下川辺地区（雄鳥川から西側の田）二十三・四公頃のほ場整備事業については、この工事と同時に施工するよう県当局へ強く要望しています。

一方、畑地帯の土地改良事業としては福島、下飯田工区のうちで福島地内内の六・三公頃が、工期十一月十四日から明年三月三十一日まで予定で実施されます。

なお、福島工区の全面積は十一・一五公頃ですが、その約半分を本



さて、四十九年度分として実施されるこの事業は、「四十九年度施工計画図」からもわかるように、川辺地内十一・一五公頃のほ場整備事業が五十年二月十八日竣工をめ

た。すでに完了した工区では、計画をとりまとめてお知らせしました。生活や農業経営に新しい発展の可能性を生み出し、改良後はじめての取り入れも豊作のうちに無事終りました。

これからも、この事業を進めるために、あたつてみなさんのご理解・ご協力をよろしくお願いします。

これだけ物価が上がつてはやりきりません
二十年前とくらべ、まず第一に感ずることは、なんといつても物の値段が、たいへん上がったことです。

中川辺/
青田篤長さん

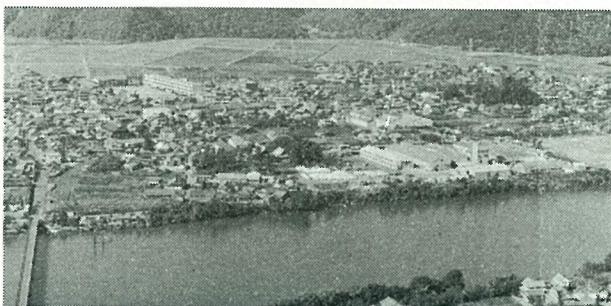
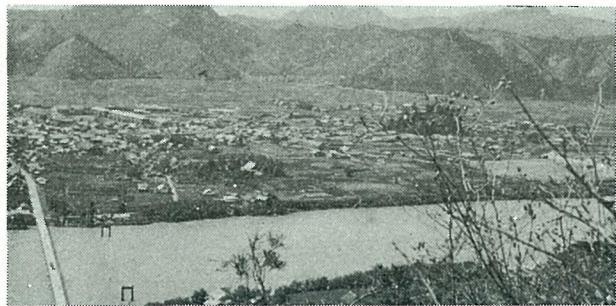
いちばん便利になったことは、道路が整備され、自動車でどこへでも自由に行けるようになったことです。

昔は砂利道で、自動車が通るたびにたつ砂ボコリに、たいへん悩まされました。また、雨の日に小学校が登校するときにドロをかけられ、泣いているのを見て、かわいそうになりました。

見違えるように 変わった道路

中川辺/
鈴木ちとせさん

私の視点



268mの米田富士山頂から眺めた昔（昭和33年）と今

とともに歩んだ20年

アルバムでたどる昔と今

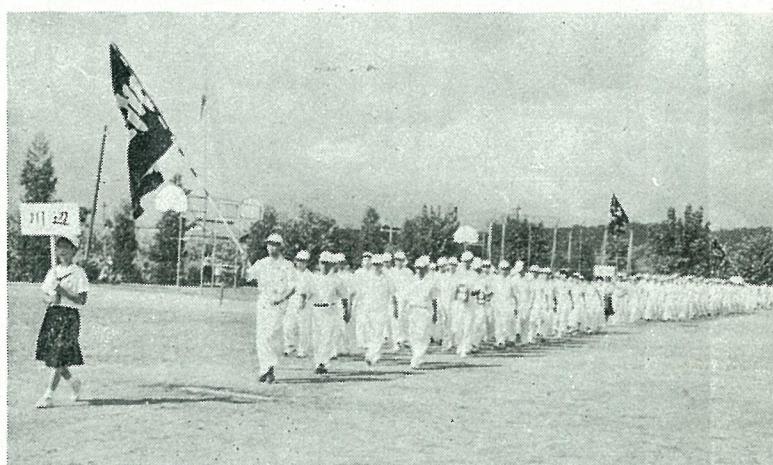


上米田村、下麻生町大字下麻生地区、三和村鹿塙地区、旧川辺町の4か町村が合併して新生「川辺町」が生まれて、まもなく20年—この間、私たちの周辺は大きく変動し、互いに苦難の道を歩んできました。しかし、これからは道も長く、またけわしいものがあるといえましょう。そして、今までの体験をひとつの試練と考え、私たち一人一人がそれに耐えて、限りない郷土の発展に力を注いでいかなければなりません。

ここに、私たちが手をたずさえ進んできた、おもな足跡をアルバムで振り返ってみました。



(上) 35年10月・国道41号下川辺～西栃井間開通 テープカットする佐藤前町長
(下) 34年9月26日、忘れもしない「伊勢湾台風」の襲撃で全壊80戸、半壊70戸の被害を受けた。



36年8月、郡体育大会、本町で開催、優勝の栄を得た

生活が豊かになったことは、た
いへん結構なことです。これだ
け物が上がつては、やりきれませ
ん。この先が思いやられます。

反面、私たち老人にとって、い
ちばん感謝することは、老人福祉
が充実されたこと。たとえば、老
齢年金など年々増額され、安心し
て老後の生活が送られることです。

今年の若いうちに聞けば、選挙
は自由であって、誰を当選させよ
うと勝手という感がありますが、
私たちにしてみれば、その気持ち
はじゅうぶんわかります。しかし
その部落、地域を愛するためなら
ば、こうした若い人たちの考えを
多少無視しても考えなければなら
ないところに、大選挙区制のむづ
かしさがあり、昔の私たちの考
えかわったところと思ひます。

選挙についていえば、川辺町は
小選挙区制でなく、はつきりいつ
てこういうところは部落根性がた
いへん強く、むづかしいところが
あります。

むづかしい 大選挙区制



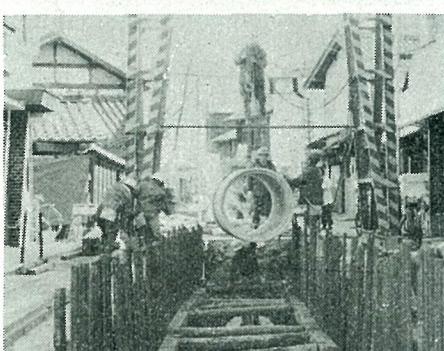
鹿塩／
加藤與一さん



昨年二月川辺局の電話自動化に
よりほぼ全家庭普及した。



豊かな生活環境をめざす
上水道の建設——配水池



上水道とならんで快適な生活
づくりへ前進、下水道の建設



近代農業の開発によって機械
化が進んできた。



「虹のかけ橋」川辺大橋の誕生したのはまだ記憶に新しい
ところ。今後の文化、経済の発展がいっそう期待されよう

四十一年十月二十三日、明治維新から数えてちょうど百年、これを記念して式典が開かれ、また町章が制定された。



一億円の巨額を投じて四十一年九月着工された川辺小の校舎は翌年七月二十四日りっぱに完成。



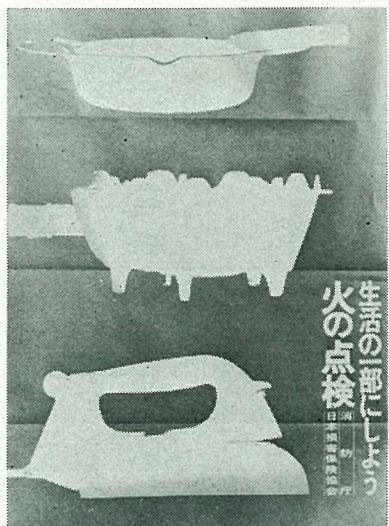
50年春の完成予定

比久見団地 昨年に続いて20戸建設

昭和四十八年度事業として建設された比久見団地、二十戸の町営住宅は、白い壁に青い屋根とがマッチした快適な住まいとなりました。

地盤は、三千五百平方メートルで、一戸当たり四四・九平方メートルの第一種簡易耐火構造の平屋建てで三層、四層半、六層の各居室と台所、浴室などがあり、室内と外観ともに整った設計です。

いよいよ本格的な工事に入ります。なお、この二十戸分の入居者を現在公募していますので、希望者は役場土木課へ申し込んで下さい。



火災シーズン到来

注意したい暖房器具の取扱い

十一月二十六日から十二月二日まで「生活の一部にしよう火の点検」の統一標語で、全国いっせいに秋の火災予防運動が行われています。

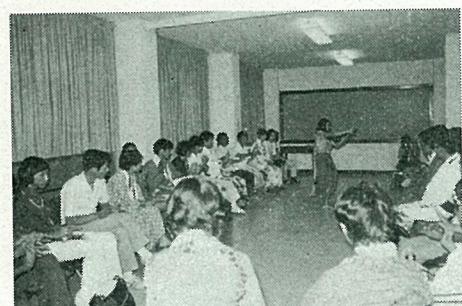
毎年、この季節になりますと家庭ではストーブが恋しくなり、屋外ではたき火をする機会が多く、火災の発生がふえてきます。可茂消防川辺出張所の調べによりますと、町内ではことしになって小さなものを含めて六件の火災が発生しており、その損害額は百

祖国愛の強い東南ア諸国 若者の心意氣で先進国並に

派一
外ポ
海レ

私は今回、岐阜県単独で構成された『岐阜県東南アジア派遣団』の一員として、参加させていただきたいことに、心から感謝とお礼を申し上げます。

この研修は、日本の青年として恥しくない態度で諸外国の人たちに接し、そこで交される外国语を学び、諸国の状況を知り、あわせて國員相互の親睦を深めることを目的とされ、ことしで八回目を迎えた。日程はシンガポール、マレーシヤ、タイ、香港の東南アジア四ヶ国、十一日間の研修期間でした。短期間ではありませんが、日本を離れて日本を見る機会であった



バンコクでの現地青年との交歓会

うが、たとえばシンガポール、マレーシャでは英語、中国語、マレー語など三カ国語くらいは通用します。日本語だけしか話しえかない日本人が残念でなりません。また、日本人独特の舶来品崇拜は、ここには全くありません。

一民族、一国家、一言語といつても、最初に感じたことは、どこの国も若いということ。それは国自体も若いが、年令的にも二十歳以下が六〇%という。若者の國であることを、企業の平均年令が二十歳前後、税関の係員なども二十五歳前後が目立ち、みんながのびのびと働いていて、その喜びが伺われました。

つぎに、国民に国際的な感覚があるという感がしました。これは多民族国家であることからでしょ

うで、日本が、ともすればひとり勝手な自己中心的な発想や行動に落ち込みやすく、風俗、習慣の異なる他国との交流には、じゅうぶん注意すべきことだと思いました。

また、貧富の差の大きいことや宗教がその国の社会生活など、マイナスになっていることも、まだあるようでした。

最後に、私は東南アジア諸国を訪問して、どの国も日本より経済文化が十年から十五年立ち遅れていますが感じました。しかし、この若い国々の若者の共通した点は祖国愛が非常に強いということでした。現在は发展途上国であっても五、六年先には日本と同じ先進国並みの国にしようとする、心意気が感じられ、それは私たち日本人の若者にはない一つの大きな財産でもあるようでした。

(西橋井川市岡道隆)

税知識

退職金と税金

今月は、退職金にかかる税金について説明しましょう。

▽退職金には、所得税がかかる

ります。退職金による所得のことを退職所得といい、これには所得税がかかります。

退職所得の計算については、その年中に支払を受ける退職

金の収入金額から、その人の勤続年数に応じて計算した退職所得控除額を差し引き、その残額の二分の一が退職所得となります。

退職所得控除額は、勤続年数に応じて、次のように定められています。

(一) 勤続年数が20年までの場合 20万円×勤続年数

ただし、その額が40万円未満のときは40万円とします。

なお、勤続年数に一年未満の端数があるときは一年に切り上げます。

(二) 勤続年数20年を超える場合 40万円×勤続年数-400万円

また、退職者が在職中にけがなどをして障害者になり、それが直接の原因で退職したときは、前記によつて計算した金額に100万円加算したもののが退職所得控除額になります。

郵便局より

年賀状、小包は早目に

ことしもまた年賀状をお出しになる時期が近づきました。この時期は一時的に非常に多くの郵便物が出ますので、年賀状の元旦配達ができますよう、早目に差し出しましょ。

△特別取扱期間は年賀状▽

△年賀状は年賀状十二月十五日から十二月二十八日までとなります。元旦配達するための最終差出日は十二月二十二日までです。

△私製はがきの使用については、はがきの表面の色に制限があります。官製はがきと同じ色、またはそれより淡い色。

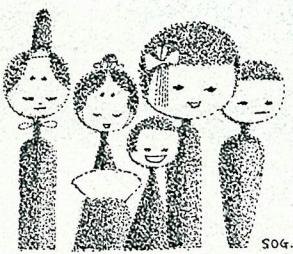
△年賀の表示については、お年玉はがき以外のはがきには額印下部に「年賀」と朱書きして下さい。

△あて名はハッキリと番地、肩書きまで必ず記入し、また差出人の住所、氏名もお書き下さい。

△郵便局での区分作業がスムーズに進み、郵便物が早く送られるためにも「郵便番号」は必ず記入して下さい。

△小包▽

年末になると、贈答小包が非常にたくさん出ますので、小包は十二月十五日ごろまで。遅くなると年内に着かないことがあります。



人権週間 12月4日～10日

相談所も開設

12月4日から10日までは「人権週間」です。法務局と人権擁護委員協議会では、ことしはとくに人権擁護の重点目標を「親子」と「人権」とし、まず親子の豊かな心のふれあい、思いやりをスローガンとして、家庭内における人権尊重の徹底をはかるよう活動しています。

この機会に、お互いの人権についてもう一度よく考え、地域住民とし、また家族の1人として、健康で明るくゆかいに生活ができるよう心がけましょう。

本町では、週間中につぎにより相談所が開設されますので、家庭生活上の問題、借地、借家、農地上の問題、その他心配ごとがありましたら、なんでも結構ですからお気軽にご相談下さい。

△日時 12月6日（金）午前10時から午後3時まで

△場所 川辺町役場

なお、相談員は本町の人権擁護員である山口金十郎さんと、船戸貞宗さんです。

おしらせコーナー

△総務課長 兼財政係長（総務課長） 小栗雄太郎 △土木課長（企画室長） 矢田元雄 △企画室長（土木課長） 高井嘉治 △企画係長（財政係長） 高橋和彦 △収入役室（総務） 横田茂美 △総務（収入役室） 座間芳夫 △税務（新任） 栗山登次

△衛生公害、産業課での「畜産公害」など公害関係はすべて企画室所管となりました。また、総務課の所管であった「統計」、「消費者行政」、産業

ことしもまた年賀状をお出しになる時期が近づきました。この時期は一時的に非常に多くの郵便物が出ますので、年賀状の元旦配達ができますよう、早目に差し出しましょ。

△特別取扱期間は年賀状▽

△年賀状は年賀状十二月十五日から十二月二十八日までとなります。元旦配達するための最終差出日は十二月二十二日までです。

△私製はがきの使用については、はがきの表面の色に制限があります。官製はがきと同じ色、またはそれより淡い色。

△年賀の表示については、お年玉はがき以外のはがきには額印下部に「年賀」と朱書きして下さい。

△郵便局での区分作業がスムーズに進み、郵便物が早く送られるためにも「郵便番号」は必ず記入して下さい。

△小包▽

△年賀はがき以外の小包は、必ず額印下部に「年賀」と朱書きして下さい。

△あて名はハッキリと番地、肩書きまで必ず記入し、また差出人の住所、氏名もお書き下さい。

△郵便局での区分作業がスムーズに進み、郵便物が早く送られるためにも「郵便番号」は必ず記入して下さい。

△年賀の表示については、お年玉はがき以外のはがきには額印下部に「年賀」と朱書きして下さい。

△郵便局での区分作業がスムーズに進み、郵便物が早く送られるためにも「郵便番号」は必ず記入して下さい。

△年賀の表示については、お年玉はがき以外のはがきには額印下部に「年賀」と朱書きして下さい。

△郵便局での区分作業がスムーズに進み、郵便物が早く送られるためにも「郵便番号」は必ず記入して下さい。

△十一月十一日付で役場内の人事異動が実施された。（）は前所属、前職名

△十一月十一日付で役場内の人事異動が実施された。（）は前所属、前職名

△十一月十一日付で役場内の人事異動が実施された。（）は前所属、前職名

ともに絵本を楽しもう

■ 幼児の読書 ■



です。

子どもを本好きにするコツがあ

るとすれば、それは。

子どものそばに、よい本があ

ること

子どもをとりまくおとなが、

まず本好きになること

いつも子どもにお話を聞かせること

だといわれています。親子いつ

しょに楽しむことです。それは読

書の出発点です。

まず、自分が好きなれる絵本

を子どもといっしょに読みましょ

う。親が絵本の楽しさをつかめな

ければ、子どもに伝わりません。

「親のうしる姿を子どもはまね

る」からです。そして、心を込め

て絵本を読み聞かせて下さい。

子どもが本と結びつきます。

子宮検診を行います

子宮検診を次の日程により実

施しますので、お知らせします

女性が健康な日々を送るために

一人でも多くの方が受診される

よう望んでいます。

なお、受診希望者は婦人会、

または直接役場住民課まで申し

込んで下さい。

△十二月十日（火）

下麻生県神社

△十二月十一日（水）

中央公民館

時間は両日とも、十二時三十分から午後二時までです。

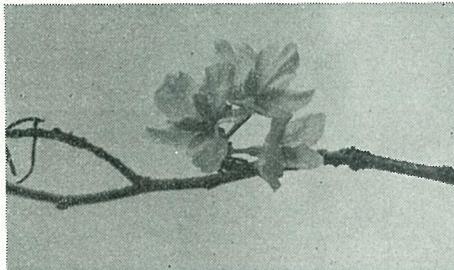
カメラルボ



県獣友会はさる10月24日、町獣友会と協力して生後3ヶ月のキジ40羽、2ヶ月のウズラ15羽を水無瀬休獣区一帯へ、第2保育園の子どもたちによって放鳥。鳥たちは元気に秋深い山のかなたへ飛んでいきました。



郡プロパンガス販売業者は10月23日、川辺小講堂で、家庭の主婦らを招いてプロパンガス取扱いの説明会を開催、なお、181件を抽出してガス器具などを点検したところ、わずか43件だけが異常のないことがわかりました。



紺べきの青空が、ひときわあざやかさを増すこの11月、役場庁舎横の桜の木に、ことしもまた多数の花びらが狂い咲きました。花壇には、色とりどりの菊の花が咲きそろう今なんともおかしな季節のおりがらです。

婦人教育の一環として、文部省では昭和三十一年度から婦人学級の開設を指導してきましたが、本町でも十二年前から開設し、いろいろな活動が続けられてきました。

婦人学級とは、婦人がその自發的な学習意欲に基づき、豊かな人間性を養い、町民・主婦あるいは

婦人としての立場から家庭経営の能力を高める家計、衣食住の管理、家族の人間関係など、いわゆる家庭の生活設計、消費生活に関する学習も行っています。

一方、急激な社会環境の変化により、心身の健康を守ることが重要なこととなつてることから、家族や婦人自身の健康管理について

町民・主婦・母親としての学習

— 婦人学級 —

母親または就労婦人として、その資質や能力を向上させるために行う各種の学習を教育的に高める活動のことを行います。

そして、学習する内容は、一町民として社会連帶意識の形成に寄与するものとして、例えば生活環境、行政、政治などに関する学習や婦人の奉仕活動に関する学習を行います。

あるいは、婦人としての立場から家庭経営の能力を高める家計、衣食住の管理、家族の人間関係など、いわゆる家庭の生活設計、消費生活に関する学習も行っています。

今年度は、消費問題、健康管理などについて開設時間を年間二十二時間計画し、七十三名の参加を得て今まで六回まで進みました。

来年度も各年代別による学習内容など考えていましたので、多数の参加をお待ちしています。

このほか、母親として家庭教育に关心と理解を深めるため、こどもの心身の発達、母親としての自觉や態度などについても学習し、最近重要視されている乳幼児教育に取り組んでいます。

このように、婦人学級としての学習範囲は非常に幅広く、多方面にわたって学習活動が行われています。

この調査は、経営耕地面積が五アール以上、または、過去一年間の農産物販売金額が七万円以上あると思われる世帯を正確に、は握するものです。

調査にあたつては、県知事が任命された調査員が、該当世帯へ伺いますので、よろしくお願いします。

なお、その準備調査を三十九人の調査員によつて、十二月一日現在で行います。

一九七五年農業センサスが、来年の二月一日現在で実施されます。



おしゃせコーナー

自衛官の募集について

防衛庁では、二等陸、海、空

士の自衛官を募集しています。

資格は満十八歳以上二十五歳未

満の男子です。

くわしいことは役場または自

衛隊岐阜地方連絡部（電話岐阜三三局三一二七）へおたずね下

さい。

心配ごと相談

こんどの相談日は、十二月四日と十八日の水曜日に役場で行います。

課で扱っていた「流通物資調整事務」も、これからは企画室で行うことになりました。

電気コタツを使うとき、下にマット等をしくと、熱をにがしません。「弱」でも程よい暖かさが保てます。これで約二十分の電力を得します。

また、電気コタツで温度調節のできるものは、低い温度目盛りで使いましょう。「強」、「中」、「弱」でそれぞれ百ワットくらいの差があります。熱すぎるのは、ネコもよろこびません。

わたしたちの作品

指呼の間も遠き父となりしか 遠藤 豊
あらわき すき おとこ はるけし とおとうじ とよとうじ
雜草の茂みに紛るホホヅキに郷愁はるけし
あらわき ほほづき くうしゅう はるけし
夏逝かんとす 肥田 千里
なむすへ ひだり
袖ヶ溪掬へる水のこぼるるに漆の赤き
そでヶせきくひへるみずのこぼるるにうすのあかき
葉の流れ来ぬ 生駒 昭子
はやせのれりくまぬ いこま あきこ
八十までも嫌い通せし川魚姑はうましと
やそじゆきよしはうまし
鮎食みませる 神田 繁子
あゆくめまらせる かみだ しげこ
主なくアレチノギクの咲きゐたり
あるじ あれちのぎくのさきゐたり
あげて離村の分校の庭 鈴木 利弘
あげてりそんのぶんこうのにわ すずき りこう



—⑩— (資料提供=龍洞寺)

そこで、玄蕃丸が百姓に向つていうには

はちりぢりになり、われわれ三人
やつとここまでたどりついたが、
このような赤ん坊を連れていては
動きがとれぬ。まことに不びんだ
と思うが、なにとぞかくまゝでは
くれまいか。

ひとまず、これより遠くへ逃げ
て、やがてよい機会を待つて、再
び旗揚げしようと思うが、そのと
きには必ず、その方を武士の身分
にとりたて、じゅうぶんな報いを
するぞ」と、いった。

百姓も同情して、「それはなん
とも、おかわいそうに。ちようど
わが家には、三歳になるわたしの
孫がおりますが、今はもう乳離れ
して粥など食わせておりますゆえ
また一人、孫ができるように世間

「聞き入れてくれるか、それは
かたじけない。では万事、よろ
くたのむぞ。まもなく追っ手もく
る。それではごめん」と、家を
後にして、吉田渡しへと急いだ。
川べりに立つて大声で船番を呼
ぶと、さっそく渡し舟に飛び移つ
た。そして、

「急いで向こう岸までやつてく
れ。」と、せきたると船頭はさお
を取り直して、舟をこぎ出した。

その時、うしろの方から、「お
い」と呼びかける声がした。
はて、追つてがもうやつてきた

かと、あり向いて見れば、岸に立っているのは、わが子の長寿丸ではないか。

「船頭、舟を返してくれ」といつて再び岸にもどり、供の嘗右エ門が長寿丸の体を抱きかかえるようにして舟を移すと、たちちに舟を出させた。

ほどなく対岸についたが、そこには岩石がつき出し、細い道が上方の森のほうへ通じていた。舟を降りたときは、長寿丸はもはや虫の息であった。急所の傷で、とても助かる見込みはあるまいと、いつている間に、長寿丸はがつくりと首を垂れて、動かなくなってしまつた。

おめでた
（十月中旬の届け出）
「出 生」
ご成長をお祈りします

死
亡

謹んでおくやみ申し上げます

鹿下川辺 上川辺
 塩安田 辻江口 井戸 鈴木 山口
 鈴市 久子 武雄 藤吉 明尚 四郎

朝晩の冷え込みが強くなり、寒さは日一日とびしくなってきました。カゼをひかないよう元気には過ごしましょう。

おめでた
おくやみ

(十月中の届け出)